

12月 さつき園だより

平成23年12月
さつき幼稚園
理事長 萩谷雅一

今年を振り返って

今年も残すところ僅かとなりました。園児達は、年長・年中・年少・たんぽぽ組のどの子ども達にも1年間のそれぞれの確かな成長がみられ、とても頼もしく思っています。

今年は大震災と原発事故の年として、長く記憶に残る年となるでしょうが、地震といえば、現在生じているプレートのずれを修正する力が働くことから、5年以内に再び大地震に見舞われる可能性が高いといわれているようです。上町台地に近いこの地も常時備えが必要です。というわけで、先日も園で地震避難訓練を行いましたので、ご家庭でも緊急時の対応について話し合っておいて頂きたいと思います。経済面でも10数年来続いているデフレ、円高が止まらず、相変わらずの不景気が続いています。国の財政も大赤字で少子高齢化がとまらず、年金はパンク寸前、子ども手当・幼保一体化の問題なども混沌としています。

まさに前途多難ですが、そうした中で今年のキーワードは「絆」だそうです。家族の絆を大切にしながら、「子どもの最善の利益や育ち」を守っていくことが必要です。特に幼児期の子ども達の養育には親の力が絶対に必要で、基本的には「母親の受容」が最も大事といわれています。子どもはお母さんに受け入れられていることを確信すると、「根拠なき自信」を得て自分に対する肯定感が得られ、前向きな思考さらにはポジティブな人生を歩めるといわれています。逆にお母さんに拒まれると、自分に自信が持てなくなり「自我の安定」が得られなくなります。今日「子どもは社会で育てる」式の考え方が政策面でも強くなってきているように思いますが、「子どもは家族の絆の中で育み、その育ちを社会が支援する」スタイルが望ましいことはいまでもありません。当園に子どもたちを通わせているご家庭はどちらもしっかりと子ども達を育てておられますが、一般社会ではそうではない場合も見聞きするので、敢えて書かせていただきました。

1年間園の運営についてご協力をいただきありがとうございました。先日のおもちゃつきも、たくさんのお父さんお母さんのご協力で大成功でした。つきたてのおもちはとてもおいしかったですね。

では良いお年をお迎えください。来年もどうかよろしく願いいたします。